

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	A：グローバル社会における排他主義とデモクラシーに関する総合的研究
研究テーマ名	多文化共生デモクラシーの社会基盤設計—制度・構造・規範の国際比較共同研究
研究代表者	大賀 哲
所属機関・部局・職	九州大学・大学院法学研究院・准教授
研究成果の総合評点：B	
研究成果に係る所見	
<p>本研究は、多文化共生社会を実現するための社会基盤の構築について多角的理論的に研究することをめざしたもので、極めて包括的で野心的なものだといえる。国際シンポジウムの開催や英語論文などの国際的発信は一定程度行われていて、その点は評価できる。しかしながら、研究チーム内の5つの班はそれぞれに研究活動しているように見え、連携やまとまりが不明である。研究成果として上げられているのも、「包括的な社会基盤の確立を検討した」とか「多文化共生のための方法を検証した」というのみで、具体的にどのような新しい学術的知見がえられたのかが明らかではないのは残念である。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い